

さくらさくPLUS

2026年7月期  
第3四半期決算説明資料

---

2026年6月12日

---

証券コード  
**7097**



# 2026年7月期 第3四半期決算概要



# 2026年7月期 第3四半期決算概要 前年同期比

(百万円)	2026年7月期 3Q実績 (A)	2025年7月期 3Q実績 (B)	前年同期比	
			増減 (A) - (B)	増減率 (%)
売上高	13,679	14,467	△788	△5.4
営業利益	1,061	1,078	△16	△1.5
経常利益	1,128	1,031	97	9.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	834	728	106	14.6

売上高

減収

前年同期比  
△5.4%

主力の保育サービスは、既存園の在籍率向上や、公定価格の上昇による補助金増額、東平園の開設、晴海園の増床が寄与し増収。一方、不動産事業は前期に計上した大型の不動産売却案件（浅草）の反動により、当期も不動産売却は実施したものの減収。ただし、その他サービス（研修事業等）は概ね計画通り進捗しており、全体の減収幅は前年同期比△5.4%に留めた

営業利益

減益

前年同期比  
△1.5%

当四半期累計期間の営業利益は前年同期比△1.5%。しかし不採算事業の撤退や、中核事業の合理化・業務効率化により営業利益率は7.5%から7.8%に向上

経常利益

増益

前年同期比  
9.5%

前期は保育施設の新規開設および増床はなかったものの、当期において東平園の開設と晴海園の増床をそれぞれ実施。これらに伴う開園前の補助金収入が加算され増益

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

増益

前年同期比  
14.6%

前期に計上した不採算事業（ベーカリーカフェ等）の撤退に伴う特別損失が剥落したため当期は増益

# 2026年7月期 第3四半期決算概要 通期予算進捗

(百万円)	2026年7月期 3Q実績	2026年7月期 通期予算	通期予想 進捗率 (%)
売上高	13,679	17,810	76.8
営業利益	1,061	986	107.6
経常利益	1,128	1,092	103.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	834	816	102.2

売上高

順調な推移

通期予算進捗率  
**76.8%**

各サービスとも堅調に成長しており、当四半期累計期間において順調に推移

営業利益

達成

通期予算進捗率  
**107.6%**

採用の内製化や不採算事業の整理といった、每期継続している利益率向上施策が着実に成果を創出し、収益が概ね予算通りに推移する中でこれらの施策が利益の上振れを牽引し、当四半期累計期間において通期予算を前倒しで達成。なお業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示予定

経常利益

達成

通期予算進捗率  
**103.3%**

営業利益が通期予算を前倒しで達成したことが寄与し、当四半期累計期間において通期予算を達成

親会社株主に帰属する  
四半期純利益

達成

通期予算進捗率  
**102.2%**

経常利益が通期予算を達成したことが寄与し、当四半期累計期間において通期予算を達成

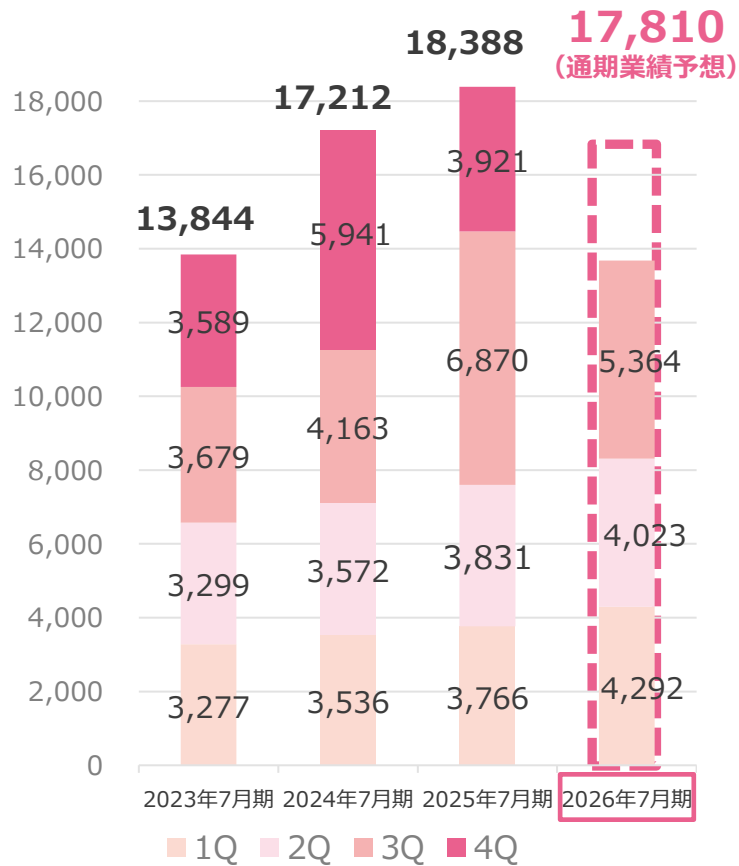
# 2026年7月期 第3四半期決算概要 通期予算進捗

## 売上高

(単位：百万円)

想定通り堅調な推移

進捗率 **76.8%**

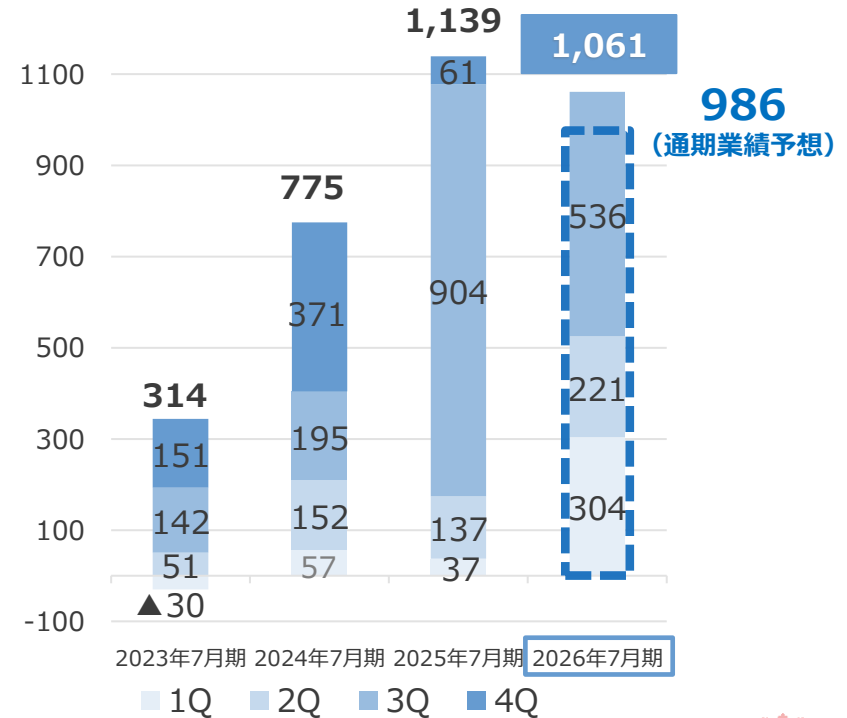


## 営業利益

(単位：百万円)

通期予算を前倒して達成

進捗率 **107.6%**



# 2026年7月期 貸借対照表

## 資産の部 2,871百万円 増加

販売に伴う販売用不動産の減少があった一方で、補助金収入による未収入金の増加、不動産取得、保育施設の新設・増床による有形固定資産の増加

## 負債の部 2,133百万円 増加

主に保育施設の新設・増床に伴う短期借入金、新規不動産の取得に係る長期借入金が増加

## 自己資本率

43.9% ▶ 40.7%に減少

(百万円)	2025年7月期実績	2026年7月期3Q実績	前期末比
<b>資産の部</b>			
流動資産	<b>4,766</b>	<b>5,689</b>	923
現金及び預金	2,521	2,862	340
販売用不動産	700	94	△605
仕掛販売用不動産	38	118	79
未収入金	1,139	2,205	1,066
その他	366	409	43
固定資産	<b>8,491</b>	<b>10,439</b>	1,947
有形固定資産	7,062	8,981	1,918
無形固定資産	441	394	△47
投資その他の資産	988	1,063	75
<b>資産合計</b>	<b>13,258</b>	<b>16,129</b>	2,871
<b>負債の部</b>			
流動負債	<b>2,948</b>	<b>4,150</b>	1,202
短期借入金	496	1,601	1,104
1年内返済予定の長期借入金	594	566	△28
その他	1,856	1,983	126
固定負債	<b>4,488</b>	<b>5,419</b>	930
長期借入金	2,480	3,380	899
その他	2,007	2,039	31
<b>負債合計</b>	<b>7,436</b>	<b>9,570</b>	2,133
<b>純資産の部</b>			
<b>純資産合計</b>	<b>5,821</b>	<b>6,559</b>	737
<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,258</b>	<b>16,129</b>	2,871

# 2026年7月期 事業活動



## 保育サービス

- ① 大阪市中央区にて1施設の新規開設
- ② 既存保育所の晴海園を増床
- ③ 保育所不足のエリアから『親子で乗れる送迎バス』運行開始
- ④ 東京都中央区にて1施設の新規開設予定

## フェムケア・フェムテックサービス

### 新製品リリース

## 取締役就任（子会社）

- ① (株)さくらさくみらい 新取締役就任
- ② (株)保育のデザイン研究所 新取締役就任

## 不動産 企画・開発

- ① マンション開発事業
- ② 買取再販事業
- ③ ホテル再生事業

## ① 大阪府中央区にて1施設の新規開設

大阪府中央区では、2022年から児童数が増加しており、保育所ニーズの増加が見込まれる

定員 **76** 名

2026年4月 **開設**



さくらさみらい 東平

## ② 既存保育所の晴海園を増床

晴海園は、晴海フラッグの影響で人口が増加傾向にある地域のため、保育所ニーズの増加が見込まれる

増床前  
定員 **26** 名  
0～2歳児

増床後  
定員 **62** 名程度  
0～5歳児

2026年4月 **増設**



さくらさみらい 晴海

※東平園の開設と晴海園の増床に関し、当期は開設補助金および運営収益の一部（期間按分）の計上にとどまるものの、翌期以降は通期での業績寄与を見込む

## ③ 保育所不足のエリアから、『親子で乗れる送迎バス』運行開始

### 背景と目的

保育所の不足している晴海エリアから、保育所の受け入れ枠に余裕がある月島エリアへ送迎バスを運行。

民間独自の迅速さで晴海エリアの保育所不足を解決し、鉄道駅のない同エリアの新たな交通インフラとして、子育て世帯の移動に係る負担軽減へ

### 本事業の独自性とメリット

1. 「預けてそのまま通勤」を叶える、親子同乗スタイル
2. 天候不良時や荷物の多い日でも安心、移動を快適にサポート
3. 居住エリアに縛られず、希望に沿った保育所選びを可能に

東京都中央区  
晴海エリア ↔ 月島エリア



送迎バス

## ④ 東京都中央区にて1施設の新規開設予定

2027年4月開設予定

(仮称) さくらさくみらい グランドシティタワー月島 (認可保育所)

認可  
定員数 **99** 名

※2027年7月期にて、運営収益および開設補助金収入の計上を予定



グランドシティタワー月島

## ■ 新製品リリース



### ママエールシリーズ 新製品

#### 次世代菌活ケアサプリ ラクトリファイン



#### 内側から整える

1,400億個の乳酸菌をはじめ、ラクトフェリン、ラクトバチルス菌や酪酸菌、ビフィズス菌、5種のオリゴ糖・食物繊維を贅沢に配合。母子の健やかな毎日を内側から優しく守ります。

#### 高機能美容・和漢ケアサプリ インナーケア



#### 産後の美容・トータルケア

栄養機能食品としての基準を満たすビオチンをはじめL-シスチンなどの美容成分を配合。変化しやすい産前産後の髪や肌、爪のすこやかさと、自分らしい輝きをサポートします。

#### 発売の 背景と 目的

葉酸サプリメントを展開する「ママエールシリーズ」より、現代のニーズにあった成分配合と圧倒的なコストパフォーマンスで、妊活育児期で変化する「栄養ニーズ」と多忙な共働き世帯の「タイプ需要」へ対応し、葉酸サプリメント市場でのシェアを拡大する

#### 対象者

妊娠前から産後までの女性及び多忙な共働き・子育て世帯

#### 発売時期

2026年夏頃予定

#### 市場の 優位性

(ママエールシリーズ)競合他社を上回る豊富なラインナップを展開  
「個人のニーズに応え、その時々最適な選択を可能にする」パーソナライズ性を確立



# 取締役就任(子会社)



## ①(株)さくらさくみらい 新取締役就任

(株)さくらさくみらい  
新取締役の就任

2026年5月1日付での石川 祐介氏（さくらさくプラス経営管理本部長兼任）の就任

専門性と実績

公認会計士としての高度な専門知識および、複数企業でのCFO・財務責任者歴任による豊富な経験

就任の狙い

新代表取締役社長の就任に伴い、新たに経営管理本部管掌となる新規人材を配置、グループ全体および、(株)さくらさくみらいの財務戦略およびガバナンス体制をより強固に補強・向上させるための経営管理体制の刷新

今後の展望

グループ全体における持続的な企業価値向上の推進



主な  
略歴

2004年12月	あずさ監査法人（現有限責任あずさ監査法人）入所
2008年8月	公認会計士登録
2013年7月	ソフトバンク株式会社（現ソフトバンクグループ株式会社）入社
2017年8月	アキュルナ株式会社入社取締役財務担当
2018年9月	株式会社シンカ入社執行役員CFO
2020年3月	同社取締役CFO

# 取締役就任(子会社)



保育のデザイン研究所

## ②(株)保育のデザイン研究所 新取締役就任

### (株)保育のデザイン研究所 新取締役の就任

2026年4月1日付での矢藤 誠慈郎氏（前和洋女子大学教授）の就任

#### 専門性と知見

保育学・教育学における豊富な学術的知見および、全国各地での研修・講演実績

#### 就任の狙い

学術的知見の経営・研修事業への直接反映および、講師ネットワーク活用による全国的な研修体制の拡充

#### 今後の展望

今後は取締役として経営に参画することで、学術的知見をダイレクトに経営・保育研修へ反映させ、企業価値のさらなる向上を目指す



#### 主な略歴

1993年 4月	岡山短期大学幼児教育学科 講師・助教授
2001年 4月	新見公立短期大学幼児教育学科 助教授
2003年 8月	ニューヨーク州立大学 客員研究員（新見公立短期大学在職中） ※文部科学省在外研究員（～2004年6月）
2007年 4月	愛知東邦大学人間学部 教授
2013年 4月	岡崎女子大学子ども教育学部 教授
2019年 9月	和洋女子大学人文学部 教授

# 不動産 企画・開発

## ① マンション開発事業

### ■ 第一弾 西麻布プロジェクト



東京都港区西麻布  
2024年 建物完成後  
売却済み

### ■ 第二弾 浅草プロジェクト



東京都台東区浅草  
2025年 建物完成後  
売却済み

東京子どもすすく住宅

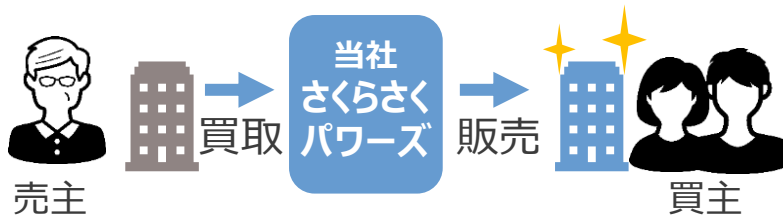
### ■ 第三弾 白山プロジェクト (共同事業)



東京都文京区白山  
2026年10月完成予定  
翌期業績に寄与

東京子どもすすく住宅

## ② 買取再販売事業



区分マンションを購入し、フルリノベーション  
実施後、売却を行う  
リフォームやリノベーションによりバリューアップ

市況を慎重に見極めながら物件の取得・  
リノベ・売却を継続実施中

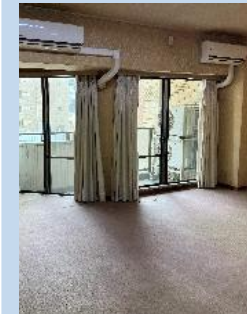


Before

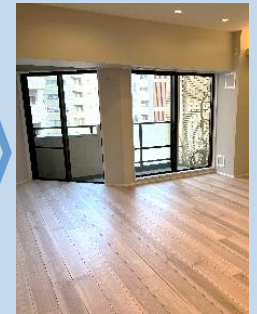


After

キッチン リフォーム例



Before



After

リビング リフォーム例

## ③ホテル再生事業

当社不動産事業におけるホテル再生事業案件として、2025年12月に物件を取得  
2026年6月末までのリブランディングに伴う改修工事が順調に進行しており、資産価値の最大化を図るとともに、  
7月下旬に開業を予定



神奈川県  
海沿いエリア  
のホテル



屋外プール  
や温泉等の  
設備も充実

特徴



ファミリー宿泊  
対応

ホテル外観



ホテルロビー



客室



ホテル正面外観



## 中期経営計画



# 中期経営計画

## 2028年7月期に向けて

中核事業である保育サービスを軸に、研修サービスやフェムケア・フェムテックサービス等の「保育周辺サービス」を拡張、拡充する。共働き家族が増加する中で多様化する子育てのニーズへ応える。総合的な子育て支援企業としての事業基盤を確立

## 2026年7月期の 取り組みと見通し

保育所の新規開設（1施設）と既存保育所（1施設）の増床を行った。主な開設エリアである東京都心部では、行政の手厚い子育て支援策が継続。さらに、出生数のプラス転換や共働き世帯の増加を背景に、保育需要は非常に底堅く推移。こうした強い需要を背景に、当四半期累計期間で営業利益をはじめとする各段階利益は通期予算をすでに達成

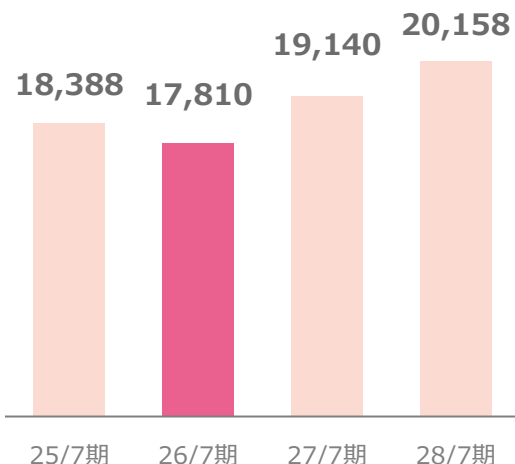
## 売上・不動産関連の補足

前期は販売用不動産（浅草）の売却が売上高に大きく寄与した。当期は不動産案件の規模の差により、前期比で一時的に減収するものの、新規案件（販売用不動産、買取再販売等）は継続しており、今後の収益貢献を見込む

(百万円)	2025年7月期 実績	2026年7月期 予算	予算比	2027年7月期 計画	前期比	2028年7月期 計画	前期比
			増減率		増減率		増減率
売上高	18,388	<b>17,810</b>	△3.1%	<b>19,140</b>	7.5%	<b>20,158</b>	5.3%
営業利益	1,139	<b>986</b>	△13.4%	<b>1,208</b>	22.5%	<b>1,339</b>	10.9%

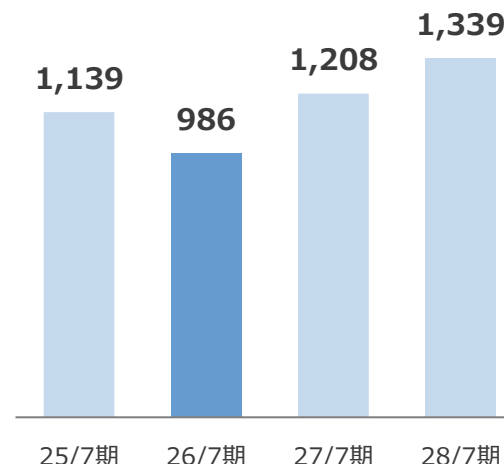
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



# APPENDIX



# 会社概要

会社名	株式会社さくらさくプラス
設立	2017年8月
上場	2020年10月（東証グロース）
決算期	7月
マネジメント	代表取締役社長 中山 隆志（写真 上段左） 取締役専務 森田 周平（写真 上段中央） 取締役（社外） 北村 聡子（写真 上段右）
所在地	東京都千代田区有楽町1丁目2番2号 東宝日比谷ビル
資本金	589,019,430円（2025年7月末）
従業員数	1,804名（453名）（2025年7月末）※
事業内容	子ども・子育て支援事業 株式会社さくらさくみらい（100%子会社） 株式会社さくらさくパワーズ（100%子会社） 宅地建物取引業者 東京都知事（2）第103379号 株式会社あかるいみらいアセット（持分法適用関連会社）
関連子会社	Hana TED.,JSC（ベトナム：持分法適用関連会社） 株式会社みらいパレット（100%子会社） 株式会社保育のデザイン研究所（100%子会社） 株式会社YELL（100%子会社）

## 取締役













## 監査役



※

1. 従業員数は、就業人員です。
2. 臨時雇用者数につきましては、年間の平均人員を（ ）外数で記載しています。  
なお、臨時雇用者はパートタイマー、アルバイト、派遣社員を含んでいます。

- 2009年 5月** 事業譲渡により「さくさくほいくえん」（認可外保育施設）を個人事業として開設・創業
- 2009年** 株式会社ブロッサム（現「株式会社さくさくみらい」）設立
- 2010年** **現小規模保育施設** 「わこうさくさくほいくえん」（「さくさくみらい和光」）開設（2025/3/31閉所）
- 2011年** **初の認証保育所** 「つきしまさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい月島」）開設
- 2014年** **初の認可保育所** 「もとまちさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい元町」）  
**初の認可保育所** 「ぜんげんじさくさくほいくえん」（現「さくさくみらい善源寺」）同時開設
- 2017年** 株式移転により、株式会社ブロッサムの完全親会社として「さくさくプラス」を設立 
- 2018年** 株式会社さくさくパワーズ設立 宅地建物取引業者 東京都知事免許(1)103379号 
- 2019年** 社名を株式会社ブロッサムから株式会社さくさくみらいに変更  
株式会社あかるいみらいアセット設立   
Hana TED.,JSC設立（ベトナム）  
- 2020年** 東証マザーズ（現 東証グロス）上場
- 2021年** 株式会社みらいパレット を設立   
株式会社VAMOSを子会社化（全株式譲渡に伴い、連結除外）   
株式会社みんなのみらいを設立（経営資源の最適化のため、事業を終了） 
- 2023年** 株式会社保育のデザイン研究所を子会社化 
- 2024年** 株式会社YELLを子会社化 

共働き家庭が、増え続けています。

女性だけでなく、男性の働き方も、多様になってきています。

一人ひとりが、それぞれ違うカタチで幸せを描き、

新しいキャリアを形づくっていく時代。

子育てに必要なこともまた、新しくなっていくでしょう。

子どもは、社会の未来。子育て家族は、この国の伸びしろ。

子育て家族が元気になるほど、日本の未来が嬉しい方へ変わっていくと、

私たちは信じています。

子どもが成長していく喜びを、

本人はもちろん、親と、保育者と教育者と、地域の人々など、

あらゆるステークホルダーが笑顔の中で分かち合っていけるように。

なるほど、その手があったか！ え、そこまで出来るの!?

私たちは、これからの時代を生きる子育て家族に、

嬉しいイノベーションを届けていきます。

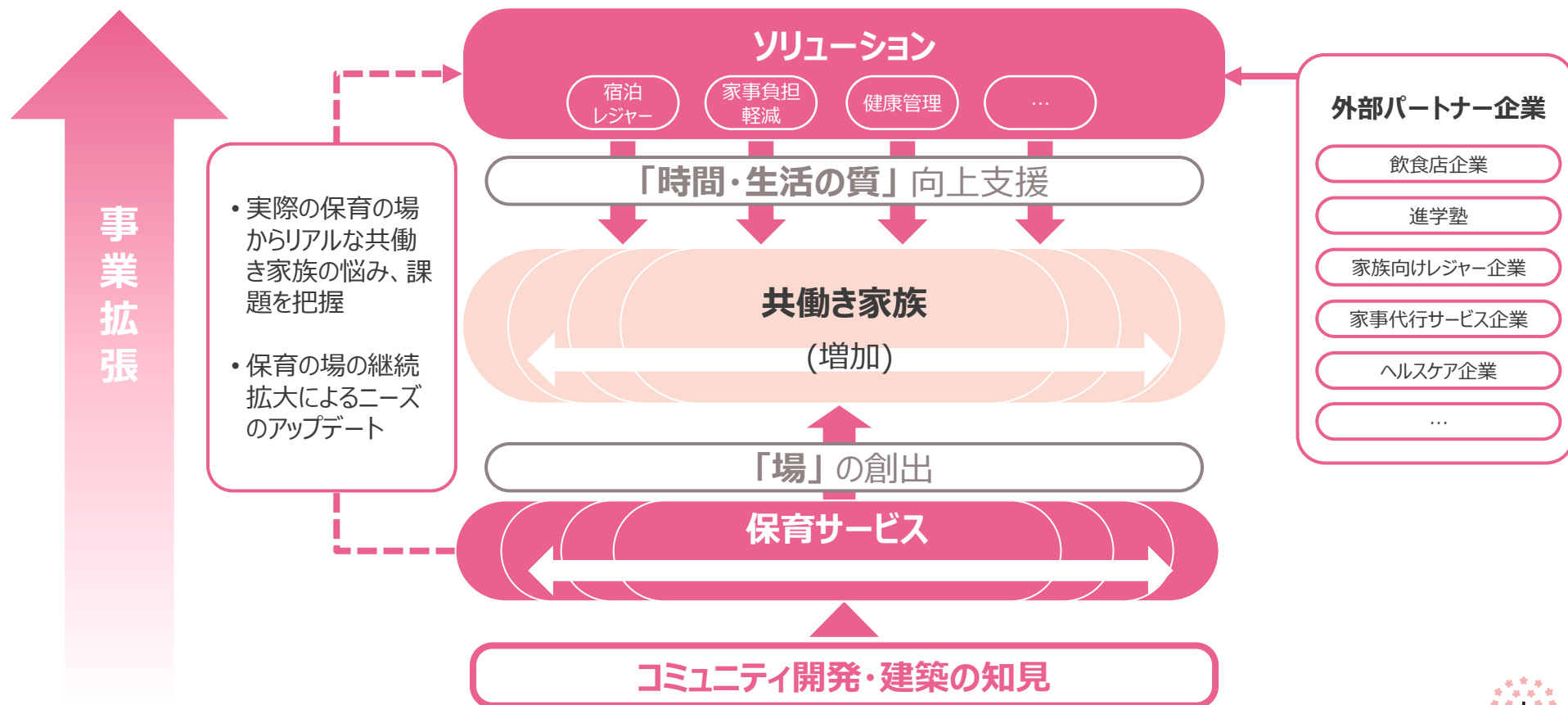
日本の伸びしろを、花ひらかせる。 さくらさくPLUS



# ソリューションプラットフォーム

## 共働き家族のための「場」の提供に加え、 「時間」+「QOL」を向上させるソリューションプラットフォームへ。

これまでの、保育の「場」を生み出すことでの課題解決に加え、保育の現場から得られる様々な知見、課題をもとに、共働き家族の皆様の「時間」の悩みを解決し「QOL」を向上するべく、多様なソリューションを提供する事業へ拡張していきます。



# グループの事業ポートフォリオ

当社（純粋持株会社）

さくらさくPLUS

## 1. グループ中核事業

基幹事業として子育て支援事業を展開

## 2. 基盤能力の活用

ハード面：不動産開発

## 3. 中核事業のノウハウ活用

ソフト面：  
ICTによる情報活用、  
保育所運営で培った  
資産

## 4. 事業領域の拡大

1、2、3のシナジー効果  
を活かした子育て支援  
事業を「創出」

### 1. グループ中核事業

保育サービス

株式会社 さくらさくみらい  
(連結子会社)

さくらさくみらい  
SAKURASAKU mirai

### 2. 基盤能力の活用

不動産  
企画・開発

株式会社  
さくらさくパワーズ  
(連結子会社)

さくらさくパワーズ  
SAKURASAKU POWERS

株式会社  
あかるいみらいアセット  
(持分法適用関連会社)



### 3. 中核事業のノウハウ活用

情報資産サービス

株式会社 みらいバレット  
(連結子会社)

研修サービス

株式会社 保育のデザイン研究所  
(連結子会社)

### 4. 事業領域の拡大



子育てしやすい  
社会を目指して  
さらなる事業拡大

フェムケア・  
フェムテックサービス

YELV 株式会社 YELL  
(連結子会社)

# 保育所周辺サービスとのシナジー



運営施設数  
**88** 施設  
保育所  
(2025/7月末)

保育所利用者数  
**4,899** 人  
(2025/7月末)



- ❁ 本資料は、当社の事業及び業界動向に加えて、当社による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の見通しについても言及しています。
- ❁ これらの将来の見通しに関する表明は、様々なリスクや不確実性が内在します。
- ❁ すでに知られたもしくは知られていないリスク、不確実性、その他の要因が、将来の見通しに関する情報に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ❁ 当社は、将来の見通し、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の見通しと大きく異なることもありえます。
- ❁ 本資料における将来の見通しに関する情報は、2026年6月12日現在において、利用可能な情報に基づいて、当社によってなされたものであり、今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。



さくらさくPLUS  
日本の伸びしろを、花ひらかせる。